



No.005

Smiling 2022

一般社団法人
Kids & Smile 広報紙
カンボジアとアフリカの子どもたちと共に

No.005

カンボジア・アフリカ・東ティモールからの報告

カンボジア シュムリアップより

支援者の皆様

カンボジアのシュムリアップ市とその周辺の村のここ半年（2021年12月1日～2022年5月31日）の状況をお伝えします。

■ シュムリアップ市の状況

市内では、ビジネス、お店、レストラン、空港、様々な活動が再開され、元の状態に戻りつつありますが、その顧客のほとんどは地元の人々で観光客も少しずつですが増えています。

しかし、シュムリアップ市から少し離れたトンレサップ湖畔にある水上村 Prek Toal 村は漁業で生計を立てているのですが、不漁が続いているため各家庭の収入が大きな打撃受けています。

■ 学校の再開

昨年12月に入り、カンボジアはコロナ感染症が落ち着いてきました。私立学校や大学は通常の授業の再開を許され、公立学校、シュムリアップの4つの村の幼稚園も2月に再開しました。

■ 出席率の低下と家庭内の問題

コロナ感染症の影響の一つに、クラスに出てくる子どもの数が減ったことが挙げられます。それにはいくつかの理由が考えられます。

1. 家庭内収入の減少。親たちが以前にもましてカンボジアの別の地域やタイに出稼ぎに行くようになり、子どもたちは自分より幼い妹・弟の世話をしなければなりません。
2. シュムリアップから車で1時間～2時間の Piak Snaeng 村や Taom 村ではこのコロナ禍の2年間に子ども

たちが育ち、彼らの多くが家計を助けるため農場労働者として働いたり、また、親が自分たちの働いている畑に労働力として一緒に連れて行ったりするために、子どもたちは通学できなくなっています。

3. Prek Toal 水上村では、小さな子どもたちが小魚の頭を切り取るための作業に雇われていること。この作業は1キロが500リエル（1\$=約4,000リエル）約17円の収入になるため、親は子どもたちを連れて作業場に出かけています。



San Pisey

いま3歳、まだ文字は書けませんが、絵を描いてくれました。

皆様のご支援で実施しているプログラムの現状

■ ライス スープ プログラム

毎週日曜日に行っていた信仰や価値観を学ぶのクラスが再開したので、このクラスの後に提供していた米、野菜や小魚などを粥状に煮込んだライススーププログラムを再開しました。

■ 子どもと母親のための識字コース

Piak Snaeng 村では、幼い頃に地雷で両足を失った障害のある女性 Sokleng さんを先生に迎え、子どもたちとその母親に読み書きを教えてもらうようになりました。

■ イエス農場（ファームオブ ジーザス）の整備

イエス農場のある Piak Snaeng 村では、支援金を活用し約 8 ヘクタールが開拓され、キャッサバなどを植えまた道路も建設されました。子どもや若者のための運動場も整備され、日曜学校に参加する約 80 人の子どもたちにとって魅力的な場所になっています。

■ 先生の給料

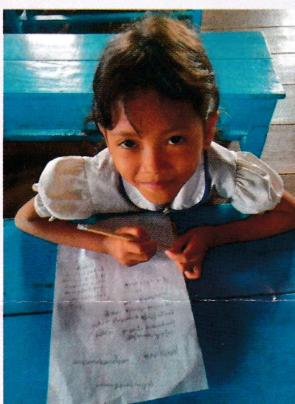
4つの村で合わせて 9 人の先生が仕事をしています。月給は 120 ドル、年間支給されるのは、ボーナスとして 150 ドル、ユニフォーム代として 50 ドルが支払われています。

■ シュムリアップ市内の子どもたちへの支援

新たな計画として、市内にいる日々の食事にも困窮している小学生から高校生までを対象に、昼食を提供することを考えています。その多くは孤児であったり、親あるいは本人が刑務所に収容されたりしていた子どもたちですが、日曜日には教会にやってきます。近いうちに政府はこのような子どもたちを、郊外へ強制的に移動させるという情報があり、その前に、対象となる子どもたち 40 人に少しでも健康な身体になってもらうために、8 月から 3 カ月間昼食の提供をしたいと考えています。

最後になりましたが、カンボジアの子どもたちのために、寛大な支援を続けてくださる Kids & Smile の友人の皆様に心から感謝いたします。家が豊かでないというだけで、たくさんの可能性を持っている子どもたち、そんな子どもたちといつも共にいてくださる皆様に改めて感謝の気持ちをお伝えします。

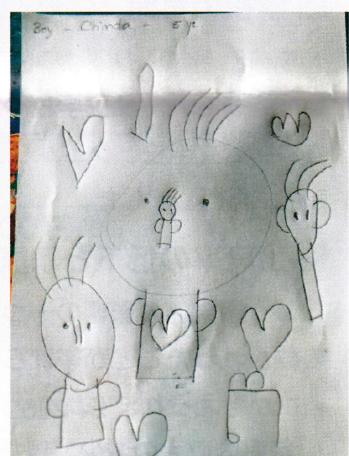
（トテット神父 S.J.）



私は Ron Sovann. 7 歳です。セントメアリーラーニングセンターの 1 年生です。私は 3 人の兄弟と 2 人の姉妹がいます。お父さんは建築現場で働いています。お母さんはお家で雑貨を売っています。毎日、朝 7 時に学校に行くために家を出ます。お昼には家に戻り、暇な時はお母さんのお店の手伝いをします。皆さんも健康でいてくださいね。



Chinda, 5 歳 Kompon Khleang の幼稚園に通っています。Kids & Smile に手紙を書いてと頼んだら、こんな絵を描いてくれました。



こんにちは。私は Reasmey です。

毎朝 6 時に起きて、まず、蚊帳をたたみます。それから毛布、マット、枕もきちんと片づけます。そして顔を洗い、歯を磨き、髪をとかします。朝ごはんを食べて、制服に着替えて学校に行きます。お父さんが学校までボートで送ってくれます。クラスは 7 時から始まり、11 時に終わります。家に帰ったら宿題をして 12 時にならお父さん、お母さんとお昼を食べます。それから、空いている瓶に水を汲む仕事をします。2 時にならクラスの復習、5 時には夕食を食べます。6 時になら、寝床の準備をして 7 時半には両親とお祈りをしてから眠ります。（7 歳、2 年生）

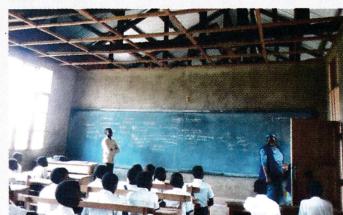


Kasando の学校建設と子どもたち

皆様のご支援による Kasando の学校建設はまだ完成に至っておりませんが、確実に進められています。この学校は、現在、小学生 704 人、中学生が 286 人学んでいます。コンゴ東部における内戦による国内避難民の子どもが多く、貧しい家庭の子どもが一杯います。(2022 年 5 月現在)これらの写真は、RDCongo から送られてきた学校建設中の写真やその学校で学ぶ生徒たちの様子です。

● Kasando 学校建設

学校の建設については、レンガ造りなどや大工の手伝いなど、周辺の住民や生徒の親たちが担っていますので、雇用のサポートにもなっています。



既に建てられた新しい教室での授業の様子とセレモニーの前に集まった子どもたち。

● 社会教育センターで学ぶ若者と小さな子どもたち



社会教区センターの青年たちは識字教育を受けながら手に技術を持つ勉強をしています。青年たちに教わりながら刺繡を習う社会教育センターの貧しい子どもたち。この一生懸命な姿は確かに初心者や新入生を励ましてくれます。



- 11 月 21 日のマリアの祝日「ニーナ・マリア」では、生徒たちが集まり、様々なお祝いをします。来場者に花束を渡すために待機している小学生。



11 月 21 日のミサの中で平和への祈りの象徴である「コンゴの地図」を奉納。子どもたちはそれぞれキャンドルを持ちます。

● 保健衛生を学ぶ子どもたち

保健衛生の授業の一環として、学校の白い制服のシャツの正しい洗い方、干し方などを教わります。



- 初等教育の修了時に国家試験があり、その開始日に教育当局は、テストが入った封筒を、他の列席者の前で、4人の生徒の証人に手渡しました。



● 祈りの日に、野外でガイダンスを受ける子どもたち



聖マリア修道女会、いよいよ活動を始める 東ティモール・アタウロ島

5人のシスターたちが現地語のテトゥン語の言葉を学びながら今年1月から活動を始めています。

シスターたちの家で3歳から14歳までの子どもたちに勉強や運動、道徳を教えています。

教会では、スポーツや音楽の練習をしている青年たちの相談も受け、成人向けには4つの言語、英語・ポルトガル語・フランス語・スペイン語の語学学校も開始され、この学校では主産業である観光業に向けての、コミュニケーションスキルを得ることができます。

本島の首都ディリにあるイタリア人の神父が創設した手芸品センターでは、近隣のマキリ村に住む約50人の訓練生の女性たちに育児や栄養、家庭の経済に関するトレーニングも行っています。

何人かのシスターたちは、15日毎に数日間かけて、山

間部のマカダデのミサに赴き、様々な年齢の人々と教育的な活動に参加しています。マカダデは、町から大きく隔離され、電気も水道もなく、道は舗装がされてないような非常に貧しい村です。学校は小学校までしかないので、シスターたちの存在は住民の人たちに大変喜ばれています。シスターは健康に関するケアも行っています。片足に奇形を持つ一人の女の子と母親を東ティモールの首都ディリまで運びました。

生後6か月の時に対処すれば治癒される可能性がありますが、放置すると慢性化してしまうものでした。

知的障害や精神の障害を持つ子についてもシスターたちの家庭訪問の際に発見されることがよくあります。

シスターたちは、ここに住む人々それぞれが信仰している宗教の種類を問わず、家庭訪問に多くの時間を割き人々との繋がりを大切にしています。



支援先の歴史的背景と現地の状況



カンボジア

1970 年右派ロン・ノル将軍がクーデタを起こし、シハヌーク国家元首を追放しました。これがカンボジアの悲劇の始まりでした。隣国のベトナム戦争は、カンボジアをも戦乱に巻き込み、カンボジア国内に拡大、内戦も激化しました。

1975 年クメール・ルージュ（ポルポト派）はプノンペンに入城し内戦は事実上終結した。しかしポルポト政権は急進的な原始共産主義政策を断行し、都市の無人化、農村への強制移住、通貨の廃止、学校や病院を潰し、教員、医者、看護師、弁護士、僧侶など全ての知識人が連行され、3 年 8 ヶ月の間

に当時の国民 800 万人のうち、170 万人が処刑されました。1978 年ベトナム軍がカンボジアに侵攻しポルポト政権は崩壊しました。国内の幾つかの体制間の問題を抱えながらも、1991 年国連が介入してパリで和平協定が結ばれました。ポルポト政権の徹底的な人間の殺戮やインフラの破壊による人々の惨状や困窮を目にし、この国の再建にはまず教育を第一にと考え、2001 年よりカンボジアの支援を始めました。近年は都市部の発展はめざましいものがありますが、農村部はいまだに発展から取り残されています。

コンゴ民主共和国

永いベルギーの植民地時代を経て 1960 年に独立。コバルトやタンタル、銅など世界屈指の希少金属の埋蔵量を誇る資源大国ですが、それ故 1990 年代には近隣諸国により東部キブ州の資源を奪い合う内戦が起り、この紛争で 500 万人以上の犠牲者が生まれました。このため豊かな天然資源を持っているにも関わらず世界の最貧国の一つとなっています。

紛争の激しいコンゴ東部の北キブ州は、入り乱れた多くの武装勢力により、ここに住む人たちには大きな犠牲が強いられています。前号でも書きましたが、反政府武装勢力による地元住民への銃撃、誘拐など非人道的な行為がいまだに続いていること、聖マリア会の経営する病院が真夜中に襲撃され、勤務していた医師が死亡したことをお伝えしました。

東ティモール民主共和国

東ティモールは、2002 年にインドネシアより独立した国です。インドネシア東部に位置するティモール島の東部にあり、人口は約 120 万人。これまでインドネシアやポルトガルに占領され、第二次世界大戦では日本軍が占領していました。東ティモールが独立を勝ち取るまでの道のりには困難が伴いました。長い独立闘争や 1991 年のインドネシア国軍によるサンタ

クルス墓地での虐殺事件、独立投票選挙にともなうインドネシア兵の破壊・襲撃行為により、多くの施設や家屋が破壊され悲惨な歴史を経ています。

東ティモールは、2016 年では人口のおよそ 40% が 1 日に 1 ドル以下での生活を強いられ、貧困層は国民の過半数の 77 万人と推定され、アジア最貧国の一つとなっています。

読者からの声

いつも Smiling を楽しく読ませて頂いてます。カンボジア、コンゴ、東ティモールの貧困やコロナで困窮している家庭や子どもたちに対して、我々の支援金がどの様に大切なものが良く分かります。カンガス神父様のお話は、いつも広いものの見方で、幸せと喜びを教えてくださいます。ただ、支援者の立場で気になることは、地政学的に考えると支援先の統治や情勢など貧富の差が生まれる複雑な事情の中、Kids & Smile の活動や我々支援者の心根がどこまで届き、次世代のリーダーの育成に役立つかということです。聖書に「真理はあなたたちを自由にする」(ヨハネによる福音書 8 章 32 節)という章がありますが、支援する立場、される立場それぞれ聖書の通り清くありたいものですね。

東京在住 Y・A 生

今、世界の人々は泣いています。

ウクライナで起こったむちゃな戦争は大勢の人を殺し破壊し、世界の自由と平和が傷を受けています。また、あらゆる国が経済の痛みを感じています。世界は、大国の冷たい戦争に向かっているのでしょうか？遠方で原子力戦争の暗い雲が、私たちを覆い、核の恐怖でおびやかされています。

さらに3年間も流行が続いているコロナ禍は、落ち着くどころか、最近は25万人超の感染者が出ています。現実的に精神的にも平和で穏やかな日々とは遠くかけ離れてられている日々の痛みを味わっています。

さらに、このような世界の不安定な状態は、貧しく恵まれない人々の気持ちをますます圧迫し、私たち以上に不安を募らせていることでしょう。

そのような方々より少し恵まれている皆さまは、自分



の痛みに閉じこもっているのではなく、平和や食べ物、学びたくても学ぶ機会を奪われている多くの国の子どもたちに、思いやり、慈しみの心をもって暖かい手を差し伸べましょう。

私は、今こそ神様があなたとあなたの家庭の上に喜び、平和、健康の恵みを与えてくださるように、そして、不安に怯える方々に早く平和が訪れるように祈らずにはいられません。 (2022.7 ルイス・カンガス記)

ウクライナ緊急支援金の報告と御礼

皆様からお送り頂いた支援金￥209,100を国際NGO イエズス会難民サービス（JRS）に送金いたしました。JRS事務局より[ご支援は難民の方々の希望に繋がる]とのメールを頂きました。心より御礼申し上げます。

第4事業年度（2021年10月1日～2022年9月30日）

Kids & Smile 定期活動のご報告

今期は、定期活動として理事会3回（臨時理事会を含む）、スタッフ会議7回を開催しました。スタッフ会議は12回／年（毎月1回）を予定していましたが、コロナ禍の中で感染状況を考慮し、予定どおりに開催することができませんでした。各活動部門（総務・財務・情報管理・広報・企画）については、必要に応じて各々会議を実施しました。（電話およびZoom等のビデオ会議）なお、年次総会につきましては2022年12月初旬を予定しています。



一般社団法人
Kids & Smile

私たちの団体の活動は、皆さまからの会費およびご寄付によって運営されています。

私たちの団体の目的に賛同し一緒にアフリカ・カンボジアの未来を築いていく賛助会員を募集しています。

その他、随時のご寄付については、何時でもお幾らでも感謝のうちに受けいたします。

支援してくださる全ての方に、年2回発行の会報誌およびNewsletter（不定期）などをお送りいたします。

会費

賛助会員 1口 2,000円

団体会員 1口 10,000円

ご寄付の方法

【郵便振込の場合】

郵便振替口座 00110-1-265940

加入者名：Kids & Smile

【銀行振込の場合】

三井住友銀行麹町支店

普通預金口座 店番号218 口座番号9415509

〒105-0003

東京都港区西新橋2丁目18-2 新橋 NKKビル7階
TEL.03-4405-4067

Webサイト www.kids-and-smile.or.jp/
E-mail : info@kids-and-smile.or.jp

